

SDT

制振工学研究会通信

SOCIETY OF DAMPING TECHNOLOGY NEWS

2018年 8月号

2018年 8月 1日発行
編 集：会報編集委員会
編集責任者：小白井 敏明
担 当 者：山口 道征
URL <http://www.sdt-jp.com>

◇お知らせ

・本通信により会員各位に有用な情報を提供すべく毎月の編集会議では頭を悩まして議論しております。つきましては、ここで取り上げてほしい事がございましたらそのご要望を次のアドレスまで是非お寄せください。

E-Mail:yamagu@pc.highway.ne.jp

◇研究会の行事案内

開催日	開催地・会場	名 称	内 容
18. 08. 21	日本合成樹脂技術協会会議室	第 31 回定期総会	総会・特別講演・懇親会 詳細

◇分科会・WG・委員会の予定

開催日時	開催地・会場	名 称
18. 08. 02 15:30~18:30	東工大・大岡山キャンパス南8号館623号室	振動音響解析WG
18. 08. 10 15:00~17:00	日本音響エンジニアリング(株)3F. ミーティングルーム	利用技術分科会・建築における制振材料利用技術WG
18. 08. 21 10:00~12:00	日本合成樹脂技術協会会議室	役員会
18. 08. 24 13:00~17:00	三井化学(株)汐留センター18F. 会議室	計測評価技術分科会・音響管計測WG2

◇会員消息 (2018年 8月 1日現在)

○会員数		○入・退会者
法人会員	25 社	—
個人会員	40 人	—
学生会員	1 人	—

◇関連学協会等の行事案内

開催日	開催地・会場	名 称	主催団体及び内容
18. 08. 01	館林市文化会館小ホール (群馬県)	摩擦振動を中心とした談話会	日本機械学会 http://www.jsae.or.jp/calendar/?month=2018-8
18. 08. 28 -31	東京農工大・小金井キャンパス (東京都小金井市)	D&D2018	日本機械学会 https://www.jsme.or.jp/event/dynamics-and-design-conference-2018-d&d2018/

◇技術情報

(次ページに続く)



靴底用に練ったゴム {約700万足分}

アサヒシューズ ロール係

熊谷 利信さん(64)

5月の大型連休明け、雨模様。始業前の工場に着くと、準備した薬剤約400リットルが入ったプラスチック製容器に手を入れ、乳白色の粉末をひとにぎりつかみ、少し、量を減らした。

「工場内の湿度が多かったからね。材料の微調整次第で、ゴムの仕上がりが変わるんですよ」

福岡県久留米市の靴メーカー、アサヒシューズ。その工場で、靴底用のゴムを練り上げる「ロール係」の仕事が半世紀近く、担ってきた。

直径約90センチのロール2本が回転する機械を操り、ロールとロールの間にゴムを入れ、練り上げていく。靴の種類によって、必要なゴムの硬さや弾力性も違う。練り上げるには、10種類以上の原料や凝固剤などが必要だ。どれだけの量を、どのタイミングで投入するかができばえを決める。

靴底を支えるゴムの品質は、履き心地や歩きやすさなどを左右し、どれだけ長持ちするかにも直結する。とはいえ、社内手順通りに練っても、気温や湿度のちょっとした変化で規格に合わなくなる。昭和初期に建てられた工場内の微妙な変化を察知し、取り、「レシビ」を微調整できる社内で唯一の人材だ。練り上げてきたゴムは靴に換算すると約700万足分になる。

一度だけ、ゴムづくりの現場から離れたことがある。畑仕事の「販路拡大チーム」への異動を命じられたのは、上履きなどの学生靴で国内シェア首位を争っていたアサヒが海外勢との競争に敗れ、1998年に経営破綻した直後だった。

再起を図り、開発したばかりの高齢者向けの靴を売り込む仕事だった。ところが、口べたで会話が通じず、訪ねた街の靴屋で門前払いにされたこともある。ただ、靴底のゴムのよさを伝えようとする、次々とよみかみ言葉が出てきた。老人ホームで話を聞いたおばあちゃんが「こつと笑いいいへえ、よきそうだね」と買ってくれたのはそんな時。うれしさは今も忘れられない。

結果的に、営業現場で2年間、買手手の存在を感じた経験は、仕事へのこだわりをさらに強める契機になった。再びロール係に戻った後、日々の気温や湿度などを丁寧に記録するように。同じ手順通りの作業をしても、梅雨の時期には不良品になることが多いことなどに気付いた。気温や湿度に合わせて薬剤の量を細かく変える試行錯誤を重ね、ゴム作りの感覚を体にしみこませ、今に至っている。2003年には工場全体で年300件以上出していた不良品は3分の2ほどに減り、多くのゴムを救っている。

5年前に定年を迎えたが、会社から求められ、再雇用で働きながら若手の指導にも力を入れる。入社2年目の石井寿人さん(19)は「細かい数字も頭に入っていて、指導もわかりやすい。熊谷さんみたいになりたいけど、まだ遠い先かなあ」。

経営再建のために採用が一時期途絶えたため、工場で働く社員の約6割が10代と20代だ。そんな若い世代の様子をみて、思う。「会社に育ててもらった人生。次は自分が、後輩がきちんと育つを見届けたいね」(田幸香穂)



高齢者向けの靴は、靴底のゴム品質が特に重要という。「ゴムに魅力が生まれている」と顔をほころばせる＝福岡県久留米市、河合真人撮影

「レシビ」で微調整

晴雨表への記録15年

晴雨表に出動日の天気と気温、湿度の記録を続けて15年。梅雨入りや台風は赤ペンで目立たせる。自分の字をみると、どう対応してきたか思い出すという。今も読み返し、作業に生かしている。

体力維持 運動が日課

体力の衰えを感じた10年ほど前から、自宅の自転車型の運動器具を帰宅後約1時間こぐのが日課。休日には近くの山を約1時間かけてウォーキングすることも。ロールの機械で回すゴムの量は1回70%にもなり、体力勝負だ。体力の維持は体調管理にもつながり、「底意が大切」なゴム練りの繊細な作業にも役立っている。

プロフィール

くまがえ・としのぶ 福岡県浮羽町(現うきは市)の出身。地元の中学を卒業後、1968年に日本ゴム(現アサヒシューズ)に入社した。生産現場では一貫して靴底用のゴム生産に関わってきた。

■情報・ご意見はファクス(03・5541・8428)またはメールで(t-rodoo@asahi.com)

◇第31回定期総会のお知らせ

第31回定期総会開催のご案内

拝啓 時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、下記により第31回定期総会を開催致したく存じます。ご多用中とは思いますが、万障繰り合わせてご出席くださいますようお願い申し上げます。なお、総会の後、引き続き特別講演、懇親会が開催されますので、是非あわせてご出席くださるようお願い申し上げます。

記

日時：2018年8月21日(火) 午後1時～2時
会場：東京都中小企業会館5F。(一社)日本合成樹脂技術協会会議室
〒104-0061 東京都中央区銀座2-10-18 Tel. 03(3542)0261

次第：

開会の辞
挨拶
議事

司会
議長

井上 茂 副会長
岡村 宏 会長

1. 2017年度事業報告
2. 2017年度収支決算報告
3. 2017年度会計監査報告
4. 会長・監事選挙結果報告
5. 役員改選
6. 新役員紹介及び旧役員挨拶
7. 2018年度事業計画(案)
8. 2018年度収支予算(案)
9. その他

山口 道征 庶務幹事
佐藤 美洋 会計幹事
山本 崇史 監事
井上 茂 選挙管理委員長
岡村 宏 会長
新会長、監事 及び 旧役員
山口 道征 庶務幹事
井上 茂 (兼)会計幹事

閉会の辞

井上 茂 副会長

(次ページに続く)

第31回定期総会特別講演他のご案内

拝啓 時下ますますご健勝のことお慶び申し上げます。

さて、下記により第31回定期総会特別講演他を開催致します。ご多用中とは思いますが、万障繰り合わせてご出席くださいますようお願い申し上げます。

記

日 時 : 2018年 8月21日(火) 午後2時15分～7時15分
会 場 : 東京都中小企業会館5F. (一社)日本合成樹脂技術協会会議室
〒104-0061東京都中央区銀座2-10-18 Tel. 03(3542)0261

○特別講演(午後2時15分～3時30分)

「地熱発電所の冷却塔の蒸気ブルームによる着氷問題」環境アセスメントとは!

株式会社エス・アイ・テクノロジー 岡田 健 氏

東北の某地に地熱発電所初号機が建設された、冬季に冷却塔から放出される蒸気ブルームにより周囲の樹の枝に着氷が形成され、国立公園の樹木の枝が折れると言う現象が起きた。本問題に対し、初回の建設時にも環境アセスメントは行われてきたが、予想に反して着氷が発生した。二号機の建設に当たり、要求された環境アセスメントでは着氷による樹木への被害が発生しないこと、という強い条件が要求された。本講演では、初回の環境アセスメントの予測が何故、外れたのかを環境アセスメントのあり方(当時)と比して述べる。蒸気ブルームの挙動を新たな考えを基に数値解析し、スケールモデルによるフロパットの確認実験を行い、気象条件と着氷発生 の 推定法を作成した。更に、本環境アセスメントに即した着氷抑制型新冷却塔を新たに設計・設置した結果、ほぼ満 足な着氷状況を観測した事例を示す。

司会 : 音環境技術研究所 小白井 敏明 氏

○特別講演(午後3時45分～5時)

「研究開発で経験した雑多な制振技術」

石濱技研(コンサルタント)代表

神奈川大学工学研究所・客員教授 石濱 正男 氏

日産自動車の総合研究所や、神奈川工科大学の自動車工学センターで振動関係の仕事をしてきたが、本稿では「制振」という切り口から、研究開発事例を古いものから順に述べる。

司会 : 音環境技術研究所 小白井 敏明 氏

○懇親会(午後5時15分～7時15分)

会費 : 一人 2,500円

事務窓口	〒104-0061東京都中央区銀座 2-10-18 一般社団法人 日本合成樹脂技術協会
	Tel. 03-3542-0261 Fax. 03-3543-0619
	URL http://www.sdt-jp.com